宮城・南三陸の防災林でボランティア
キューアンドエー従業員ら18人参加

コールセンター運営のキューアンドエー（仙台市）の従業員とその家族ら18人が6月22日、宮城県南三陸町戸倉の海岸防災林で除草作業などのボランティア活動を行った。同社は２０２２年、同町にサテライトオペレーションセンターを開設した縁で、沿岸林を再生する宮城県のみやぎコーストプロジェクトに賛同。「キューアンドエー未来へつなぐ杜」とのプロジェクト名を付け、昨年から０・３㌶の防災林の管理を行っている。

この日は参加者がクロマツ林で草取りをしたり、木に絡まったツルを切り落としたりした。参加者は「大震災で失った宮城の美しい海岸防災林を再生させるために、クロマツを保育する活動を継続しながら減災につなげていきたい」と話した。

防災林の管理活動は昨年2回実施。宮城県森林インストラクター協会の指導を受けながら、作業を行った。

同社のプロジェクトは来年秋に宮城県で開催される全国育樹祭の記念行事に認定されている。

河北新報　掲載日：2024年7月4日（木）　朝刊4面　河北Bizナビ
＊河北新報社　無断複製転載を禁止します。